

9月3日に行った 合同避難訓練の様子が、 新聞に掲載されました！

中日新聞 9月11日(水) 朝刊 北勢版

南海トラフ想定 避難訓練
四日市 3社福法人が合同で



2人で担架を担ぎ階段を上がる職員
＝四日市市塩浜栄町の「風の路」で

四日市内内の社会福祉法人「風薫会」「桜コミュニティ」「富田浜福祉会」は3日、南海トラフ地震の発生を想定した合同避難訓練を実施。運営する六つの施設をビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」でつなぎ、計492人が有事の対応を確認した。

同市塩浜栄町の特別養護老人ホーム「風の路」では、高さ10階の津波で1階の入居者や隣接するデイケア施設の利用者を2階に避難させる訓練を実施。エレベーターが使えないため、職員は重さ30kgほどの重りを載せた担架を担ぎ、階段を40回往復した。

引き続き「給食・資材班」「救護・医療班」など7班に分かれて物資運搬など緊急時の役割を確認した。管理栄養士の村山史織さん(31)は「職員同士の声かけが少なかった。本番という気持ちで訓練への意識を高めていくべきだ」と振り返った。

合同訓練は8月20日に3法人と富田浜病院が災害時の連携協定を結んでから初めて。緊急地震速報や地震発生をオンラインで結んで一斉に取り組んだ。

(轟野乃子)